

一人ひとりの学びに軸足を置いた発想の転換 統廃合しない「長井市の教育改革」

「地域から学校がなくなることとは、若い世代の流出につながる恐れはない」
長井市の「教育改革」は、少子化と人口減少でも、「小学校を統廃合しない」。

山形新聞12月12日掲載の、2面にわたった「鼎談」の記事に、学ぶ必要があります。

鼎談は、内谷重治・長井市長・寺脇研・元文部科学省大臣官房審議官・嘉山孝正・東北大参与の3氏です。

若者がいない状況
でいいのか

内谷市長は、「地域にとって学校がなくなることは、果たして良いことなのだろうか」。寺脇氏は、「明治期は全国に学校をつくらう

としたが、今は子ども
がいないからなくそう
という。

若者がいない状況で
は、地域の活力が失わ
れるのは明白で、コミ
ュニティーが守れなく
なる」。

嘉山氏は、「子どもの
人口が減少している近
年、学校の統廃合が議
論の中心となるよりは、
少人数の学生を丁寧
に教育することの方が重
要ではないかと思う。

不登校が生まれる原因は、子どもが自分の存在を認められないことと考える。

大人が愛情を持って、子どもたちに向き合うことが欠かせない」。

英語のスピーチ

長井市では、複式学級による子どもの学力低下を心配する声があったが、教育課程特例校制度を活用して、毎朝10分間、英語に触れるモジュール授業を設け、6年生が英語のスピーチを行うなど、複式学級だから学力が下がる、ということはないのは明確だ、と語っています。

岐阜県山県市では、他の小学校との合同授業を実施し、小規模校のきめ細やかさと、近隣校の仲間との学習を両立させ、一人一人の学びに軸足を置いた発想の転換があるといえます。

固定観念が支配

私たちは、「複式学級は、子どもの学力も社会性も育たない」という、誤った固定観念が支配した地域でよいのかが問われます。

ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑪

例会以外に詠まれた短歌

青桐に残りし枯葉の二つ三つ木枯らし吹きて高く舞ひ散る 太田辰吉

久びさに朝の光の漂へり大寒入りの雪なき路に 同人

春近しといふ此の日頃庭の木樹蕾は固し薄き陽の中 同人

稚子逝きし吾子の報せの受話器手に返す言葉も出ず立ちぬ 海藤徳三

田の除草せざる悪口知りつつも腰の痛みて床に臥しをり 同人

咲きつげる黄薔薇の花の一片の花びら下がり雪をのせをり 同人

魚買ふ足しにもなれば明日よりは土工に行くと妻は仕度す 同人

霜しげく降る節となりどうだんの紅葉衰へ陽に輝かず 同人

花を見ず母は死にたり稚な椿小枝を寄せて葦に囲へり 同人

気にしつつ困ひおくれし松の枝湿りし今朝の雪にたはみぬ 同人

細き雨降る川ばたを飛びたてる一つ螢を闇にかなしむ 同人

晴れ透る三国峠の紅葉恋ひ娘に伴なはれ遙ぼると来ぬ 同人

米の預金残額少なくなりし故ひとり炬燵に夜を更かしたり 同人

三十年過ぎて訪ね来し戦友の我より深き顔の皺見る 小鷹竹尾

鈴虫の鳴き初めたるを聞きし孫鋭き目付きに観察しをり 同人

瀬戸の娘に庄内米の味知らず委託農家は少し送りぬ 同人

米寿には一つ足らぬと旧き師が書に傾ける墨の香に酔ふ 同人

饑熊 饑熊(きゆう) 城貞(藤の花)

蕭蕭草萎聽秋声
 柿葉半紅猶未寢
 聞道千樵結実盲
 饑熊搜餌襲人驚

蕭蕭たり草 萎え秋声を聴く
 柿葉 半ば紅なるも猶お未だ寝ねらず
 聞道く千樵 結実 盲し
 饑熊 餌を搜して人を襲い驚く

物寂しい秋の末となり、草はしばみ秋風の音や 木の葉の散る音を聴く。
 柿の葉が赤く色づいた時期になったのに まだ冬眠しない。
 きくところによれば 数多くのブナの木が実を結んでいるのかどうか。
 はつきりとしらないとのこと。空腹で腹をすかせた熊が突然人を襲い ただ驚くばかりだ。



饑熊 腹をへらした熊。
 蕭蕭 風雨、落葉などの物寂しい形容。
 萎 しばむ。
 秋声 秋風の音や木の散る音。
 紅 あでやかな赤色。
 半 はんはん。
 猶 まだ。
 寝 ねむる(冬眠)。
 盲 はつきりしない。
 聞道 聞くところによれば。
 千樵 数多くのブナの木。
 搜 さがしもとめる。
 襲 不意にせめる。

そば店
 ◎市内のそば店で、鶴岡産の年越しそばを提供・販売します。くわしくは各店舗へお問い合わせください。
 味の大八/東京庵/そば処三浦屋/お食事みその/手打そば処菅沼/鈴木屋/大松庵/結心/和み/(一社)田川そばの郷/無量庵/ふるさとむら宝谷/産直あさひ・グー

この秋に収穫した鶴岡産そばで新年を迎えませんか

市制施行20周年記念
 年越しそばは“鶴岡産”で
 キャンペーン
 2025

12月26日(金)~31日(水)

量販店
 ◎庄内地域の下記販売店で、鶴岡産の年越しそばが購入できます。
 ★生そば(鶴岡産でわかつり・でわ宝を6割使用)/数量限定/1袋130g×3人 598円(税抜)
 主婦の店 イーネ駅前店/ミーナ店/美原店/大山店/イズモ新斎店/バル店
 コープ生協 大山店/千石店/切添店/鶴岡協同の家こびあ店/あおやぎ店/こびあコープ酒田店/なかのくち店
 A-コープ あつみ店/ふじしま店/はぐろ店/あさひ店/やわた店/にしき店/たちかわ店/ゆざ店/ふくら店

詳しくはこちら

そば処鶴岡振興協議会 事務局・鶴岡市農政課 0235-35-1295(直通)

東栄小獅子踊りものがたり⑨

願いをこめてしっぽ作り

元東栄小教諭・吉野文夫

衣装をどうするか(幕を中心に)多くの方々から意見がよせられました。

子どもの顔が見えたほうが、親として応援しやすいし、自分に責任をもって表現し、その真剣な息づかいが伝わったり、子どもらしくてよい、ということから幕なしということになりました。

六年生は、しっぽに自分と家族の願いを込めた物を、家庭科の時間に作り上げました。米俵・大根・人参・豚・鉛筆・本などさまざま

です。

下は剣道着の袴を活用することにしました。地域で眠っている古着を呼びかけ、寄進してもらいました。多数のご協力があり大変助かりました。

上はTシャツにデザインプリントと思ひ、子どもたちに図案募集しました。しかし、太鼓を持つとせっかくの絵が見えないということで、実現しませんでした。



平成	
生	
産	
費	
収益性	

(つづく)

きびちよ



推薦人は素晴らしい

年末恒例の今年の一字が「熊」だった事は納得いくが、今年の流行語のあれが一位と言うのは俺にはどうも・。というのは、「働いて働いて・・・」は時代に合わない。して又それを言った高市さんが世界で3番目に当たる働き方ナンダとは。

▲スキー場などでも彼らは行動しているから人的被害はこれからもあるかも知れないが、死者が13人になっているんだと。だから、怖い一字だぜ「熊」は。ちっちゃい子と「お馬の稽古」ナンテ歌は唄えなくなるのかナ。

▲彼女が世界で働き方が3位というのは、誰か調べたんだろうね。働き過ぎは、今でも肌荒れなど歪みとして出ているのかも。石破さんには、あの頭のとっぺん、その内なぐなっ

ぜ・と密かに思っていたものだったが。

▲誰か調べているんだと毎年思うのが、ノーベル賞に相当する人の選出だ。今年日本からの受賞は2人で、2人同時というのは10年ぶりなんだとか。2人の受賞理由。俺は一回読んでも分からなかったけど、なるほど素晴らしい研究なのだ。

▲彼の名前が文学賞に期待されてから何年になるか。確かな実績があり現役なんだが、彼に勝る人が毎年選ばれるんだ。という事は、世界中で出版される文学と言われる物全てを読む人達がいて、比べているという事なんだ。

▲同じように、ノーベル賞にある各部門には、その道の専門家から選ばれた候補者推薦人が、世界中のものを比べているという事なんだな。素晴らしいぜ。推薦人を選ぶノーベル財団も。(石川)